「えち鉄」を上手に利用しましょう

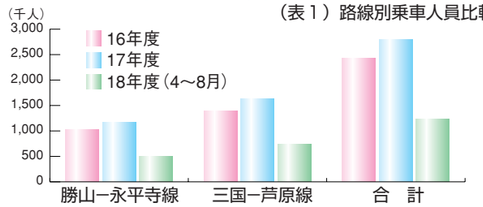
平成15年10月19日に沿線自治体や住民のかたの熱意と協力により、永平寺口駅－勝山駅区間が開通したことで、勝山永平寺線が全線開通となりました。

そして、平成17年度には、279万5千人の利用客があり、全線開通から2年半にして事故前の水準までに利用客数を回復しています。このような好調な実績の中、勝山駅での乗降客数の伸びにかげりが見えてきました。安全で便利な公共交通を、賢く上手に利用してみましょう。

（人）

	16年度	17年度	18年度4～8月
勝山－永平寺線	1,033,279	1,162,686	505,865
三　国－芦原線	1,391,309	1,632,361	733,154
合　計	2,424,588	2,795,047	1,239,019

（表１）路線別乗車人員比較



（人）

	16年度	17年度	18年度
勝　山　駅	52,386	57,437［110%］	56,630［ 99%］
山　王　駅	12,754	13,385［105%］	14,146［106%］
松　岡　駅	24,908	27,374［110%］	32,761［120%］
あわら湯のまち駅	38,268	38,233［100%］	40,088［105%］
三　国　駅	61,098	69,338［113%］	66,634［ 96%］
福　井　駅	276,607	330,744［120%］	363,366［110%］

（表2）4－8月期　駅別乗車人員（主要駅）
※［　］内は対前年比を表しています。

乗降客の伸びにかげりの勝山駅

表1の路線別乗車人員比較では、平成17年度における利用客数が279万5千人で、前年度実績の約15%増となりました。その内訳は、「通学定期」が26%増、「通勤定期」が12%増、「回数券」が15%増、「観光やイベント等」が10%増となっています。これは、えち鉄を利用したイベントの開催や、「えちてつサポーターズクラブ」の発足、駅専用の無料駐車場設置などの取り組みによる効果が表れたものです。

次に、表2では、4～8月の期間の主要な駅での3年間の乗客数を比較していますが、17年度と18年度の比較をした場合、5～20%の増加傾向にある中で、勝山駅と三国駅は減少しています。

えちぜん鉄道では、平成20年度までに乗客数330万人を目指し、黒字化計画を立て、「50万人の上乗せは厳しいながらも、新規の顧客づくりを進め、今後もさまざまな利用促進策を打ち出したい。」としています。

えちぜん鉄道の黒字化は、安定した公共交通機関の確保となり、ひいては環境保全や高齢社会の交通手段の支えにつながります。日常生活の通勤や通学、行楽、買い物などで、一人ひとりが公共交通をうまく活用し、未来に残したいものです。

勝山駅を出発する電車

「えち鉄」利用体験談

木下道夫さん（下長渕区長）

えちぜん鉄道が開通してから、毎年、下長渕区と富田区が合同で、えちぜん鉄道を利用したイベントを開催しています。日頃車で福井へ行くかたや高齢者のかたには、電車はゆっくり、ゆったりと行けると好評でした。

夛田源氏さん（勝山チャマゴン楽走会会長）

会員に声掛けをして、三国の海岸線を走る計画を立てました。三国港駅で下車し、近くの民宿で荷物を置いてジョギングに出発。海岸線沿いや三国運動公園周辺を走ってお店に戻り、みんなで冷たい生ビールを飲んだときの快感が忘れられません。帰りは、電車の中で眠り、疲れを癒しました。

えちぜん鉄道利用者アンケートから

◆サイクルトレインを利用された学生さん
電車の中で、お茶やコーヒーサービスがあればいいです。

◆通勤で電車を利用される一般男性
電車は、飲み会などの帰りに一番安心です。疲れも取れます。
コミュニティバスを保田駅や小舟渡駅にも接続して欲しいです。
学校の学期始めに公共交通機関でのエチケットについての講習してほしい。
勝山駅横に温泉設備ができないでしょうか。また、駅前に朝市開催もいいです。

◆買い物などで電車を利用された学生さん
平日切符も、フリー切符にして欲しいです。

◆通勤で電車を利用される一般女性
冬期間や夏の冷房など寒いときの「ひざかけ貸し出しサービス」があればいい。

◆通院で電車を利用される一般女性
追分口駅に簡易トイレを設置して欲しいです。

◆買い物などで電車を利用された高齢者の男性
勝山駅活性化のため駅前整備が必要です。また、待合室に売店などがあればいい。

えちぜん鉄道の朝の通勤通学の様子（勝山駅）

私からの意見

えちぜん鉄道開通を契機にお客さんの意見を反映しようと設けられた「えち鉄モニター」のかたから、思いを語っていただきました。

小谷俊幸さん（滝波町1）

大野で、越美北線の本数が少ないことから、冬期間はえちぜん鉄道勝山駅まで自動車を利用し、福井へ通勤しているかたがいる。乗客を増やすために、大野市のほうにも広報してはどうか。冬期間の渋滞を回避する利点もある。

飲酒運転撲滅やガソリンの急激な値上がりといった社会的動きの中で、福井周辺での飲酒時の電車利用は、非常に経済的に有効な手段であることを訴えるべきだ。できれば、夜間のサンプラザまでの連絡バスをさらに延長して欲しい。

齋藤彦生さん（村岡町寺尾）

車で通勤中の精神的負担を考えた場合、電車であれば読書や休養が可能であり、忙しい中での意識変革が大切で、上手に電車を利用して欲しい。

えち鉄利用について語る齋藤さん

通勤者の利用し易い時間帯など、利便性向上を図るためのアンケート調査を実施して、通勤者をターゲットに乗降客の増を図ってはどうか。福井で飲んだ時に午後10時と11時の間にもう1本あればと思う。

勝山から三国まで乗り換えなしの電車を走らせることはできないか。あるいは混雑する朝の2～3本でも良いから、屋根があるホームに電車を付けて欲しい。

通勤コストを比べてみましょう!

【勝山一福井間のえちぜん鉄道6ケ月通勤定期とクルマ通勤の比較】

電車通勤

一日あたり **940円**

勝山一福井間6ケ月定期：124,740円
勝山市事業による助成金5%割引：118,500円
118,500円÷126日≒940円

クルマ通勤

一日あたり **1,602円**

ガソリン代　5L×143円≒715円
駐車場代　月額10,000円÷21日≒476円
自動車税・自賠責保険・任意保険料
年間150,000円÷365日≒411円

※勝山市助成金適用の場合

ご意見やご要望がありましたら、市民・環境部生活環境課（☎内線265）までご連絡ください。